令和5年度下半期(R5年10月1日～R6年3月31日)相談件数

【県】

相談内容の類型 / 受付機関	行政機関等			事業者			雇用の分野に関するもの	その他	R5年下半期計	R5年度計
	不当な差別的取扱い	合理的な配慮	環境の整備	不当な差別的取扱い	合理的な配慮	環境の整備				
県障がい福祉課	0	0	0	1	2	0	7	24	34	71
県教育委員会	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
県警察本部	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
計	0	1	1	1	2	0	7	24	36	76

【市町】

相談内容の類型 / 受付機関	行政機関等						事業者			雇用の分野に関するもの	その他	R5年度下半期計	R5年度計
	不当な差別的取扱い		合理的な配慮		環境の整備		不当な差別的取扱い	合理的な配慮	環境の整備				
	一般行政	教育委員会	一般行政	教育委員会	一般行政	教育委員会							
市町	0	1	0	7	0	0	0	1	0	0	3	12	28

資料 1－1

【障がい者団体】

1 相談件数

相談内容の類型 / 受付団体	行政機関等			事業者			雇用の分野に関するもの	R5年度下半期計	R5年度計
	不当な差別的取扱い	合理的な配慮	環境の整備	不当な差別的取扱い	合理的な配慮	環境の整備			
三重県障害者団体連合会	0	1	0	0	0	0	0	1	5
三重県知的障害者育成会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県精神保健福祉会	1	0	0	0	1	1	0	3	14
三重県視覚障害者協会	0	0	0	0	2	0	0	2	2
三重県聴覚障害者協会	1	0	0	1	0	0	0	2	4
三重難病連	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	2	1	0	1	3	1	0	8	27

2 相談内容

・身体障がいがあり介護保険サービス利用中。絵葉書作成に取り組んでおり、芸術活動と社会参加のため、芸術支援に特化した障害福祉サービス事業所に通いたい。行政の福祉担当者から「介護保険サービスと障害福祉サービスの併用はできない」と言われたが、何か方法はないかとの相談。制度によりサービスの併用が可能な場合もあるので、再度行政に相談してみるよう助言。また、居住地の身体障害者相談員を紹介、連絡先を伝えた。
・病院に通院し服薬しているが、突発的に興奮すると大声がでるので、近所から苦情をもらう。
・病院を早く退院したいが、親が（80 歳代）なかなか返事してくれない。
・鉄道の無人駅におけるアシストの依頼先がわからない。連絡先がわかるようにしておいてほしい。
・就労継続支援事業所への通所に際し、同行援護事業として通所する際に、通勤とみなされると使用できない場合があるので、通所の支援をして

くれるサービスはないか。（ガイドヘルパーの事業者がどこにあるのか、わからない。）

・病院や施設や周りの人から嫌われているから毎日が嫌になる。私の病気や障がいのことを分かってくれないから悔しい。市役所の相談窓口で相談しても理解してくれない。（高望みせず簡単にできるものから始めたらどうかとアドバイスしたが…）

・障がい者施設の施設長から、乱暴な盲ろう者に仕事を辞退して欲しいというので相談。施設長の話では盲ろう者が時々乱暴したり、大きな声を出したり、机を叩いたりしているので、対応に困っている。怖がってストレスで精神的な病気で辞退する職員も居た。本人に聞いたらコミュニケーションが通じなくて腹が立つという（触手話ができる職員もいないし、本人の対応が理解できていない）。今後の対策は、別の施設に働ける環境を探す。盲ろう者のコミュニケーションについて職員に説明する。